



3年学年だより

発行日：令和8年4月30日（木）
発行者：横浜市立南高等学校附属中学校
学校長：二上 直子 NO. 1



MINAMI

令和8年度がスタートしました

校長代理 海部 祐喜子

4月前半は冷え込みを感じることもありましたが、次第に春らしいあたたかさを感じられるようになってきました。朝夕はまだ風の冷たさを感じる日もありますが、校内の木々は少しずつ芽吹き、新緑の季節へと向かっています。

改めまして、この4月より校長代理として着任いたしました海部祐喜子と申します。お子様が安心して学校生活を送り、健やかに成長できるよう、教職員とともに力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

4月7日午前の着任式では新たに5名の教職員を迎え、午後の入学式では第15期生となる160名の新入生を迎え、令和8年度の南高等学校附属中学校が新たな一歩を踏み出しました。

入学式では、新入生に向け二上直子校長から次のような式辞がありました。要約してお伝えします。

南高等学校・南高等学校附属中学校の校門の坂の桜も、皆さんの新しいスタートを祝うように、見事に咲き誇っています。入学おめでとうございます。皆さんの期待と決意に満ちた表情がとても頼もしく、教職員一同心から歓迎しています。

本校は中高一貫教育校であり、中学1年生から高校3年生までが一つの校舎で学んでいます。学習はもちろん、生徒会や部活動を通じて学年を超え、多くの人と関わることができる恵まれた環境です。校歌にある「進取の心 胸に秘め」という言葉のように、自ら考え行動し、挑戦する気持ちを大切にしてください。また、自分や周囲の人や物を大切に、相手の言葉や気持ちを受け止める力を養ってください。他者との違いに触れることで、自分自身を客観的に深く知ることもできます。

皆さんの笑顔が相手の心をほぐして、新しい一歩を踏み出す勇気となります。周囲に希望を与えるリーダーへと成長してほしいと願っています。

また、私からは始業式にて実際に漆器を紹介しながら、次のようなお話をいたしました。

漆の器は、日本の伝統的な工芸品の一つです。漆器はウルシの木から採れる樹液を使い、何度も塗り重ねて制作します。では、どのように漆は固まると思いますか？漆は乾燥して固まるのではなく、温度や湿度といった条件が揃うことによる化学反応によって、美しく固まります。この特徴は日本の気候に合っており、漆の文化が日本で長く受け継がれてきました。私たちの身の回りには、「知っている・分かっているつもり」でも、よく考えてみると多くの「なぜ」が隠れています。今日から新学期が始まります。これからのみなさんの学校生活の中には、「少し気になる」「面白そうだな」と感じる瞬間が、きっとたくさんあるはずですよ。その気持ちを大切に、調べたり、周囲の人に聞いたりしながら、同時に「自分はどう感じたのか」を自分自身に問いかけてみてください。その小さな疑問や感覚こそが、これからの学びを深めていく大切な第一歩になります。皆さん一人ひとりが、「少し気になる」を大切にしながら、自分の心の声と向き合い、成長していく充実した一年になることを願っています。

保護者の皆さま 地域の皆さま

日頃より南高・南高附属中の教育活動にご理解をいただき、そして多大なるご協力を賜っておりますこと、感謝申し上げます。新年度のスタートにあたり、一人ひとり生徒の豊かな学びを支援する私たち教職員は、生徒の思いや願いを大切にしながら、組織として教育活動を行うことを確認いたしました。保護者の皆さま、地域の皆さま、引き続き南高・南高附属中生徒の成長を支えていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。